

ゆいのき

三二

速報版 37

R4.1.20

室田和宏

「うつのみやマネジメントシステムアンケート」の集計速報

マネジメントアンケートにご協力いただきありがとうございました。詳細な分析等は例年通りホームページ等でお知らせしますが、大いに参考にさせていただき、早速指導に生かすとともに、次年度の計画づくりの参考にしたいと思います。今年はオンラインでのアンケート、初めての取組だったので、ご苦勞をおかけしたこともあったかと思えます。保護者の回答も世帯数となり、保護者の回答数は223名から112名と半数に減少しているため、単純に昨年度とデータを比較することはできなのですが、昨年取り上げた項目について、スコアを追ってみると・・・

○時と場に応じたあいさつを・・・

R1 保護者肯定割合 77.1% → R2 86.5% → R3 79.1% (児童93.9%)

児童と教職員のスコアは上がったのですが、保護者と地域の皆様のスコアは下がりました。とても上手で来校者からも度々褒めていただく学校での挨拶を家庭や地域へ広げていくことが課題です。

○いじめ対策の取組・・・

R1 保護者肯定割合 83.9% → R2 88.0% → R3 85.9% (市の平均80.9%)

こちらも市の平均は上回っているものの若干ダウンです。引き続きいじめのない学校づくり、早期発見と、チーム体制での対応に努め、職員一同力を合わせて取り組んでいきます。

◎わかる授業ときめ細やかな指導・・・

R1 保護者肯定割合 85.6% → R2 90.4% → R3 78.8% (市の平均85.5%)

“教師は授業で勝負”を合言葉に授業研究等に取り組んでまいりましたが、残念ながら大きな課題を残しました。次年度は“わかる授業づくり”を重点課題として、さらに研修を深めます。

逆に、目立ってスコアの向上した項目としては「教職員は児童のよいところを見つけてほめて
いる」「宇都宮の良さを知っている」「豊かな心を育むまごころ教育を推進している」があり、学校を挙げて取り組み、昨年度も紹介した「学校全体に活気があり、明るくいきいきとした
雰囲気である」の肯定割合も、今年度さらに上昇し98.0%（市の平均92.3%）と高い水準で、
特筆できます。

オンラインでのアンケートになったことで、保護者からのコメントの数はぐっと少なくなってしまいましたが、児童のコメントに城央小らしさが色濃く表れていたのも、すべてを紹介したいと思います。無修正なので、慣れないキーボード入力に誤字なども見られますが、それはご愛嬌ということで。

裏面へ

ゆいのき ミニ

速報版 39

R4.1.26

室田和宏

新型コロナウイルス感染症に係る学校休業について おおよその目安をお知らせします！

「オミクロン株の陽性者が出たら学校はどうなるのだろう？」「濃厚接触者になったら・・・」心配されている方も多いことかと存じます。濃厚接触者になった場合の待機期間が、自宅にて10日間になるなど、対応は日々変わっています。宇都宮市教育委員会より次のような通知がありましたので、参考にお知らせいたします。

これまで、学校関係者に新型コロナウイルス感染症の感染者が発生した場合には、感染状況や感染者の行動歴等について市保健所へ資料提供し、検査対象者の陰性が確認されるなど感染拡大の恐れがなくなるまでの期間、休業措置を講じてきたところであります。

しかしながら、現在、オミクロン株の流行など、全国的に新型コロナウイルス感染症の感染者が急増し、本市においても急激に感染拡大している状況から、オミクロン株による感染拡大期においては、保健所では、有症状者の対応を重点的に行うこととなり・・・中略・・・

つきましては、市内小中学校において、新型コロナウイルス感染症の感染者が発生した場合には、学校休業（学年休業）の措置について市教育委員会と相談の上、決定するとともに、休業期間につきましては、感染者の最終登校日や症状の有無などを確認し、3～5日程度を目安にすることといたします。ただし、休業期間につきましては、感染状況などにより休業期間の短縮や延長を行うことがあります。・・・後略・・・

学校におきましても、これまで同様感染の拡大防止に努めてまいります。ご家庭におきましても毎朝の検温、マスクの予備、ハンカチの携帯など徹底していただきますようお願いします。



どれも少し前の写真になります。なわとび大会は延期し、感染の終息をうかがっています。なかよし班での長縄大会もちろんなのですが、低学年の記録計測もコロナが落ち着いたら、ぜひ上級生にお手伝いしてほしいと思っています。冬の風物詩、版画の制作風景。素敵な作品がたくさん刷り上がっていました。右の写真は1年生、“あいさつは永遠のアイテム大作戦”を展開している様子です。かわいい1年生から“おはようございます”と声をかけられると、思わず頬が緩み笑顔になる上級生がたくさんいました。新年のスタートにふさわしいさわやかな挨拶が行き交いました。

ゆいのき

三二

速報版 40

R4.2.2

室田和宏

今、大切なこと

学年休業の波がいよいよ本校にも押し寄せてきました。以下はある担任が子どもたちに話した内容です。すべてのクラスで発達段階に応じて担任から話をしました。

学校休業になって不安に思う人もいますが、普段通りに、手洗い・うがい・マスク・消毒を徹底して感染対策をしながら生活をしていきましょう。体調の変化は確認しておかなければならないので、体温のチェックをこまめに行って、熱が出てきたり、調子が悪くなったりしたら、家の人に相談して、すぐに病院に行ってください。

学校で感染した人が出ているので、「誰なのかな?」、「私は大丈夫かな?」と不安になっている人もいます。かかってしまった人は、かかりたくてかかっているわけではないし、感染している人がとても多い状況なので、先生もふくめ、みんないつかかってもおかしくない状況だと思います。

そこで、みなさんをお願いします。「〇〇さんがかかった」、「〇〇さんの近くの人も危ないとか」、うわさ話などをしないようにしてください。みなさん方が、軽い気持ちでしたうわさ話が、広がって間違った情報になってしまうこともありますので、決して友達同士とかで、うわさ話をしないようにしてください。また、「近くにいたりとかかかってしまう」とか、「うつってしまう」、「うつるから近寄らないで」などといって、避けるような行動はやめてください。お医者さんや保健所の方が、もう大丈夫ということを確認して、登校をしているのですから。

感染している本人が一番大変だと思います。とても不安だと思います。いつ自分がかかってしまうかも分からないので、相手のことを考えて行動をしてください。

～以下、PC用語が多いのですが、学校で繰り返し指導しておりますので、お子様と操作しながらご確認ください～

3年生と4年生の担当が、休業中のオンライン体制を試行錯誤で作り上げました。今後もこのスケジュールをもとに改善を加えてまいります。休業になったら9:00にMeetで朝の会と覚えておくようにしてください。3回の体調確認など主な流れは下の通りです。（学年によって内容は異なります）

もちろん、体調が悪い時は、休養することを最優先してください。

【 コロナによる臨時休業日の日課 】

9:00 Meetで全員の顔と様子を確認する（マイクOFF・カメラONの状態で）

・ストリームにあげる時間の確認 ・体温、体調報告の提出時間（1日3回） ・諸連絡

9:15 体温の集計と確認

9:30 午前中の課題をストリームに提示

＜課題の例＞AIドリル、国語の音読、算数の予習復習、総合等の調べ学習について

（～11:45 課題や提出物の確認）

12:00 体温の集計と確認

15:15 Meetで帰りの会（明日の連絡など）

15:15 体温の集計と確認

ゆいのき ミニ

速報版 41

R4.2.4

室田和宏

オンライン授業について

先日の授業参観ではたくさんの皆様にご参加いただき、ありがとうございました。感染拡大の波はとどまるところを知らず、予断を許さない状況が続いています。数日間にわたり自宅待機を余儀なくされるケースも多くみられることから、来週からは全校的にオンライン授業をスタートしてみたいと思います。ご家庭の状況等難しい点もあるかと存じますが、ご協力をお願いいたします。継続する期間については、感染の状況を見極めて判断させていただきます。

【Google Meet によるオンライン授業の方法】

- ① 前日までに、出席できない児童が1名以上確定している場合に実施します。
- ② 配信をする時刻等は、当日の朝「クラスルーム」の「ストリーム」にてお知らせします。
朝の8:30までには情報提供できるようにします。
- ③ 基本的にカメラもマイクもオフの状態に参加してください。
(ただし、オンにしいただく場合もございますので、担任の指示に従ってください。)
- ④ 授業中の15分程度～45分を基本とします。授業のコマ数、時間を増やす場合もございますので、担任の指示に従ってください。
- ⑤ 時間割を基本に配信時間の調整をするので、希望をお聞きすることはできませんのでご了承ください。
- ⑥ 体調が悪い時には、休養を優先させてください。
- ⑦ Wifiのレンタルを利用している場合には、月におよそ5～6時間程度の容量に限られますので、部分的な参加でも結構ですので担任にご相談ください。

※ 個人情報保護の観点から、配信画像の録画、撮影等は絶対にしないでください。



写真左は佐藤 PTA 会長を中心に制作してくださった「希望の木」。“コロナが明けたらこんなことしたいな”と楽しいコメントが集まりました。根元をよく見てみると、希望の木を支えているのは、シトラスリボン。“みんなで広げようシトラスリボンプロジェクト”子どもたちの笑顔が力になります。